

いちご病害虫情報第4号(9月)

令和元(2019)年9月19日
栃木県農業環境指導センター

○今月の病害虫発生状況○

- ・炭疽病の発生は少なく、うどんこ病の発生はやや少ないです。
- ・アブラムシ類、ハダニ類の発生はやや少ないです。

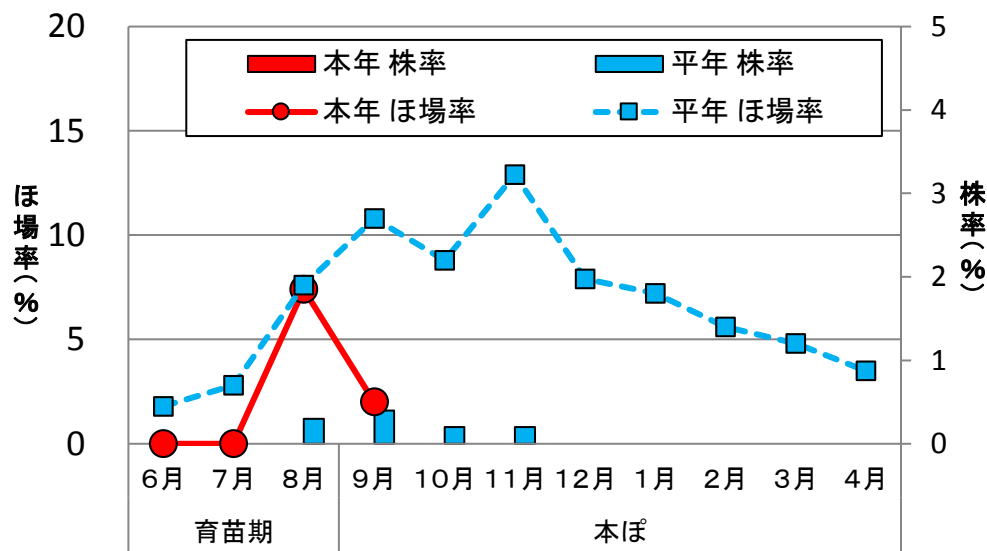


図1 炭疽病発生ほ場率・株率

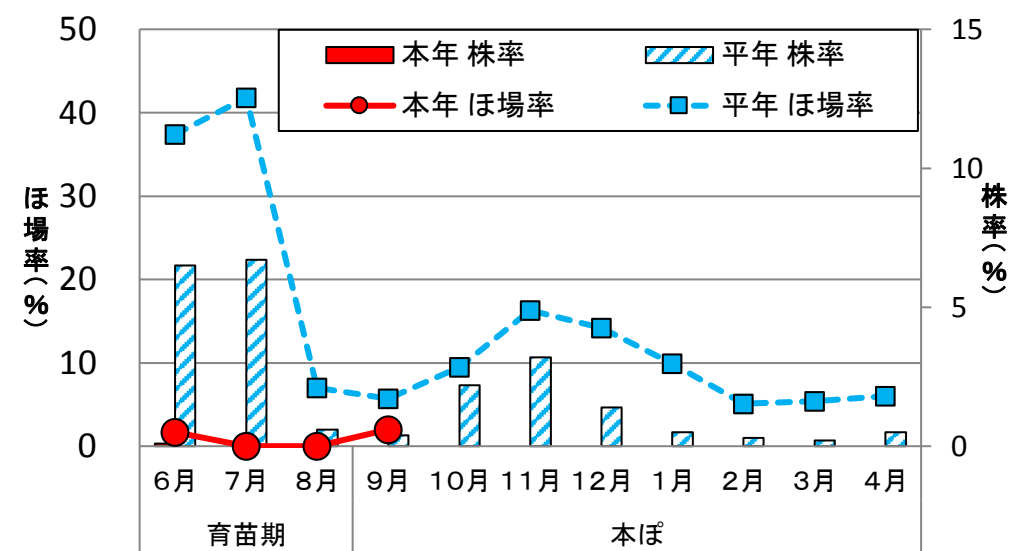


図2 うどんこ病発生ほ場率・株率

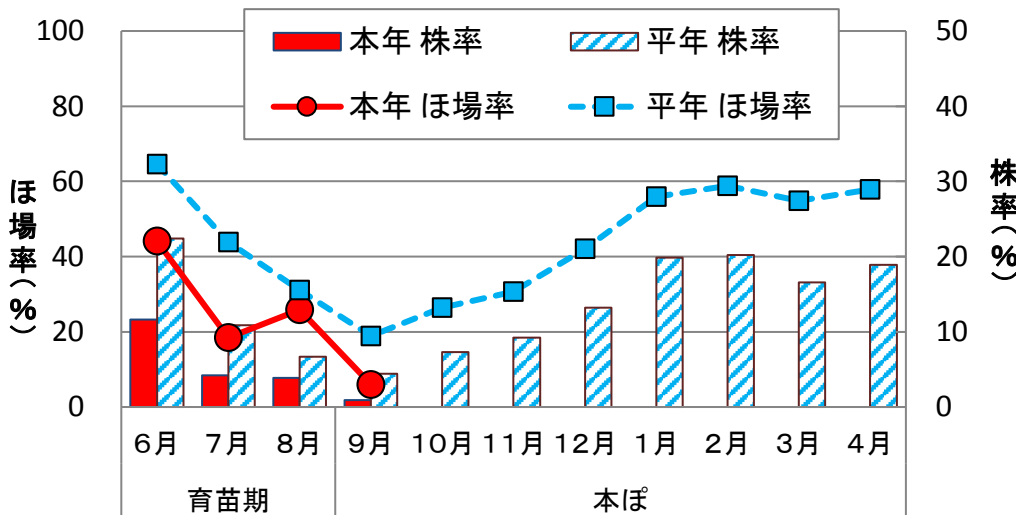


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

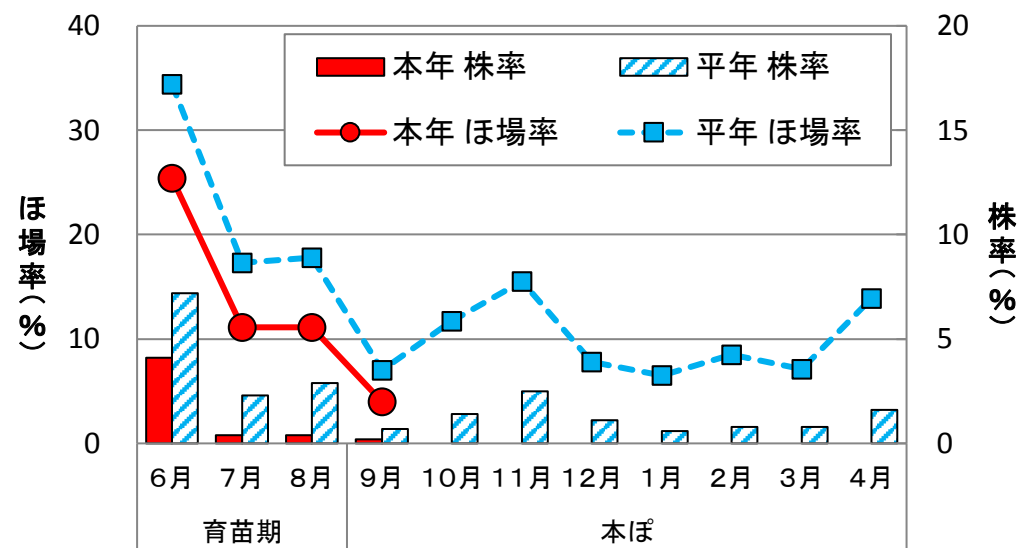


図4 アブラムシ類発生ほ場率・株率

○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (9月)

病害虫の発生は全体的に少ないですが、炭疽病、うどんこ病は県内全域で発生が見られます。育苗期の日照不足等により根腐れ症が発生しているところや育苗後半に施肥が多いところに炭疽病の発生が確認されます。引き続き早期発見・早期防除を心がけましょう。

・定植作業はおおむね順調に進んでいます。根張り優先の管理が必要ですので、定植直後に畝中心部の土壌水分が不足しないようかん水を行きましょう。

・向こう1か月の天候の見通しは、気温が高い見込となっています。株の充実を図るため、必要に応じ被覆資材を除去するなど高温管理を避け、採光性・通風性を優先するとともに、適正な温度・かん水管理を心がけましょう。また、マルチングは一次腋花房の花芽分化期以降に行うよう花芽の確認を行きましょう。

・開花期を迎えるとミツバチや天敵の導入期になります。これらに影響のある農薬の使用は制限されますので、こまめな観察により病害虫の発生状況を把握するとともに、農薬を計画的に散布し、保温開始までにしっかりと防除するよう心がけましょう。



写真1 葉に発生したうどんこ病



写真2 ナミハダニ成虫(左)と幼虫(右)